令和５年度
全国学力・学習状況調査

報告書

児童生徒一人一人の学力・学習状況に
応じた学習指導の改善・充実に向けて

質問紙調査

令和５年８月
文部科学省　国立教育政策研究所

令和5年度全国学力・学習状況調査　質問紙調査報告書

目　　次

１．調査の概要 ····· 1

２．質問紙調査の結果 ····· 9

(1) 質問紙の経年変化 ····· 9

＜児童生徒質問紙の経年変化＞ ····· 12

＜学校質問紙の経年変化＞ ····· 52

(2) 質問紙と学力のクロス分析 ····· 97

＜児童生徒質問紙と学力のクロス分析＞ ····· 98

＜学校質問紙と学力のクロス分析＞ ····· 117

３．参考資料 ····· 123

小学校調査 回答結果集計［児童質問紙］全国－児童（国・公・私立） ····· 124

中学校調査 回答結果集計［生徒質問紙］全国－生徒（国・公・私立） ····· 127

小学校調査 回答結果集計［学校質問紙］全国－学校（国・公・私立） ····· 131

中学校調査 回答結果集計［学校質問紙］全国－学校（国・公・私立） ····· 135

選択肢別平均正答率［児童生徒質問紙］全国－児童・生徒（国・公・私立） ·· 139

選択肢別平均正答率［学校質問紙］全国－学校（国・公・私立） ····· 147

小学校調査 相関係数［児童質問紙－教科］全国－児童（国・公・私立） ····· 158

中学校調査 相関係数［生徒質問紙－教科］全国－生徒（国・公・私立） ····· 160

小学校調査 相関係数[学校質問紙－教科(学校平均)]全国－学校(国・公・私立) 163

中学校調査 相関係数[学校質問紙－教科(学校平均)]全国－学校(国・公・私立) 166

児童生徒質問紙対応表

		質問番号		経年変化ページ	クロス分析ページ
1	基本的生活習慣等	小学校調査	1～3	12、13	
		中学校調査	1～3		
2	挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等	小学校調査	4～15	14～19	
		中学校調査	4～15		
3	学習習慣、学習環境等	小学校調査	16～24	20～24	98～100
		中学校調査	16～24		
4	部活動	小学校調査	－	25、26	
		中学校調査	25～28		
5	地域や社会に関わる活動の状況等	小学校調査	25～28	27、28	
		中学校調査	29～32		
6	ICTを活用した学習状況	小学校調査	29～31	29、30	
		中学校調査	33～35		
7	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	小学校調査	32～38	31～34	101～103
		中学校調査	36～42		
8	総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳	小学校調査	39～42	35、36	104
		中学校調査	43～46		
9	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）	小学校調査	43～50	37～40	105～107
		中学校調査	47～54		
10	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）	小学校調査	51～54	41、42	108、109
		中学校調査	55～58		
11	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）	小学校調査	55～59	43～47	110～113
		中学校調査	59～72		
12	各教科に関する調査の解答状況	小学校調査	国1、国2、算1、算2	48～51	114～116
		中学校調査	国1、国2、数1、数2、英1、英2、話1、話2		

学校質問紙対応表

		質問番号		経年変化ページ	クロス分析ページ
1	生徒指導等	小学校調査	8～13	52～54	117、118
		中学校調査	8～13		
2	学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況	小学校調査	14～25	55～59	
		中学校調査	14～25		
3	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	小学校調査	26～36	60～64	119～121
		中学校調査	26～36		
4	総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法	小学校調査	37～40	65、66	
		中学校調査	37～40		
5	学習評価	小学校調査	41	67	
		中学校調査	41		
6	国語科の指導方法	小学校調査	42～45	68、69	
		中学校調査	42～45		
7	算数・数学科の指導方法	小学校調査	46～48	70、71	
		中学校調査	46～48		
8	英語科の指導方法	小学校調査	49～51	72～75	
		中学校調査	49～59		
9	ICTを活用した学習状況	小学校調査	52～65	76～82	
		中学校調査	60～73		
10	特別支援教育	小学校調査	66	83	
		中学校調査	74		
11	小学校教育と中学校教育の連携	小学校調査	67～69	84、85	
		中学校調査	75～77		
12	家庭や地域との連携等	小学校調査	70～74	86～88	
		中学校調査	78～82		
13	家庭学習	小学校調査	75～77	89、90	
		中学校調査	83～85		
14	全国学力・学習状況調査の結果の活用	小学校調査	78～80	91、92	
		中学校調査	86～88		
15	新型コロナウイルス感染症の影響	小学校調査	81	93～95	
		中学校調査	89		

児童生徒質問紙一覧表

質問番号		調査項目	ページ		前回調査年度
小	中		経年変化	クロス分析	
1	1	朝食を毎日食べていますか	12		R4
2	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	13		R4
3	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	13		R4
4	4	自分には、よいところがあると思いますか	14		R4
5	5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	14		R4
6	6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	15		H31
7	7	将来の夢や目標を持っていますか	15		R4
8	8	人が困っているときは、進んで助けていますか	16		R4
9	9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	16		R4
10	10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	17		R4
11	11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	17		R4
12	12	学校に行くのは楽しいと思いますか	18		R4
13	13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	18		R4
14	14	友達関係に満足していますか	19		
15	15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	19		
16	16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	20		R4
17	17	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	20	98	R4
18	18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	21	99	R4
19	19	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）	21		R3
20	20	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	22		R4
21	21	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか	23		H31
22	22	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）〔（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）〕	23	99	R4
23	23	新聞を読んでいますか	24		R4
24	24	読書は好きですか	24	100	R4
－	25	学校の部活動に参加していますか	25		H31
－	26	普段（月曜日から金曜日）、平均して何日学校の部活動に参加していますか	25		
－	27	学校の部活動で、普段（月曜日から金曜日）活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか	26		H31
－	28	学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか	26		
25	29	今住んでいる地域の行事に参加していますか	27		R4
26	30	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	27		

質問番号		調査項目	ページ		前回調査年度
小	中		経年変化	クロス分析	
27	31	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	28		H31
28	32	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	28		H31
29	33	５年生まで〔１、２年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	29		R4
30	34	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	29		R4
31	35	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）	30		
32	36	５年生まで〔１、２年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	31	101	R4
33	37	５年生まで〔１、２年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	31	102	R4
34	38	５年生まで〔１、２年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	32	102	R4
35	39	５年生まで〔１、２年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	32		R4
36	40	学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	33		R4
37	41	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	33	103	R4
38	42	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	34	103	H31
39	43	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	35	104	R4
40	44	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	35		R4
41	45	学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	36		R4
42	46	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	36		R4
43	47	国語の勉強は好きですか	37		R4
44	48	国語の勉強は大切だと思いますか	37		R4
45	49	国語の授業の内容はよく分かりますか	38	105	R4
46	50	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	38		R4
47	51	【小学校】 国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか 【中学校】 行書の基礎的な書き方（「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など）を理解して書いていますか	39		
48	52	【小学校】 国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか 【中学校】 国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか	39	106	
49	53	【小学校】 国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか 【中学校】 国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	39	106	
50	54	【小学校】 国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか 【中学校】 国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか	40	107	
51	55	算数〔数学〕の勉強は好きですか	41	108	R4

質問番号		調査項目	ページ		前回調査年度
小	中		経年変化	クロス分析	
52	56	算数〔数学〕の勉強は大切だと思いますか	41	109	R4
53	57	算数〔数学〕の授業の内容はよく分かりますか	42	109	R4
54	58	算数〔数学〕の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	42		R4
55	59	英語の勉強は好きですか	43	110	R3
56	60	英語の勉強は大切だと思いますか	43		H31（中のみ）
－	61	英語の授業の内容はよく分かりますか	43	111	H31
－	62	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	44		H31
57	63	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	44	111	H31（中のみ）
58	64	【小学校】 これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど） 【中学校】 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	44	112	R3
59	65	家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	45		
－	66	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	45	112	H31
－	67	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	45	113	H31
－	68	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	46		H31
－	69	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	46		H31
－	70	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	46	113	H31
－	71	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	47		H31
－	72	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	47		H31
国1	国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	48	114	R4
国2	国2	解答時間は十分でしたか（国語）	48		R4
算1	数1	【小学校】 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか 【中学校】 今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	49	115	R4
算2	数2	解答時間は十分でしたか（算数〔数学〕）	49	115	R4
－	英1	今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	50	116	
－	英2	解答時間は十分でしたか（英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）	50		H31
－	話1	今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	51	116	
－	話2	解答時間は十分でしたか（英語「話すこと」）	51		

学校質問紙一覧表

質問番号		調査項目	ページ		前回調査年度
小	中		経年変化	クロス分析	
8	8	調査対象学年の児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	52	117	H31
9	9	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	52	118	R4
10	10	調査対象学年の児童生徒は、礼儀正しいと思いますか	53	118	H31
11	11	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	53		R4
12	12	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	54		R4
13	13	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか	54		R4
14	14	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	55		R4
15	15	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	55		R4
16	16	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例（※）を十分に取り入れていますか （※）優良事例としては、例えば「全国の学校における働き方改革事例集（改訂版）（令和４年２月文部科学省）」や、 「StuDX Style(スタディーエックス スタイル)ウェブサイト（文部科学省HP）」で取り上げられているICTを活用した取組例などを参照してください	56		
17	17	ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化（クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等）に取り組んでいますか	56		
18	18	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	56		H31
19	19	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	57		R4
20	20	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	57		R4
21	21	言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	58		
22	22	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	58		R4
23	23	児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	59		R4
24	24	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）	59		R4
25	25	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか（管理職を除く）	59		
26	26	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	60	119	R4
27	27	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	60	120	R4
28	28	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	61	120	R4
29	29	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	61	121	R4
30	30	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	62	121	R4
31	31	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	62		
32	32	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	62		

質問番号		調査項目	ページ		前回調査年度
小	中		経年変化	クロス分析	
33	33	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	63		R4
34	34	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	63		R4
35	35	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	64		R4
36	36	調査対象学年の児童生徒に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか	64		R3
37	37	調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	65		R4
38	38	調査対象学年の児童生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	65		R4
39	39	調査対象学年の児童生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っていますか	66		R4
40	40	調査対象学年の児童生徒に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	66		R4
41	41	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか	67		
42	42	【小学校】 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、自分と相手との間に好ましい関係を築き、継続させるといった言葉の働きに気付くことができるような指導を行いましたか 【中学校】 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、行書の基礎的な書き方（「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など）を理解して書くことができるような指導を行いましたか	68		
43	43	【小学校】 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるような指導を行いましたか 【中学校】 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるような指導を行いましたか	68		
44	44	【小学校】 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導を行いましたか 【中学校】 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができるような指導を行いましたか	69		
45	45	【小学校】 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか 【中学校】 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるような指導を行いましたか	69		
46	46	調査対象学年の児童生徒に対する算数〔数学〕の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	70		R4
47	47	【小学校】 調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか 【中学校】 調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	70		R4
48	48	【小学校】 調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか 【中学校】 調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか	71		R4

質問番号		調査項目	ページ		前回調査年度
小	中		経年変化	クロス分析	
－	49	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	72		H31
－	50	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	72		H31
－	51	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	72		H31
－	52	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか	73		H31
－	53	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか	73		H31
－	54	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか	73		H31
－	55	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか	73		H31
－	56	英語担当教員とALT（外国語指導助手）との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか	74		H31
49	57	【小学校】 学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか 【中学校】 全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実等の授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善等の学習評価の改善に取り組んでいますか	74		R3
50	58	英語の授業以外にも児童生徒が英語に触れる機会（イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等）をどの程度設けていますか	75		
51	59	家庭学習の課題（宿題）として、児童生徒にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせていますか	75		
52	60	前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を１クラス当たりどの程度行いましたか	76		R4
53	61	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	76		R4
54	62	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか	77		
55	63	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	77		R4
56	64	調査対象学年の児童生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	77		R4
57	65	調査対象学年の児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	78		R4
58	66	教職員と調査対象学年の児童生徒がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	78		R4
59	67	調査対象学年の児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	78		R4
60	68	調査対象学年の児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	79		
61	69	前年度に、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童生徒が学校外の施設（他の学校や社会教育施設、民間企業等）にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか	79		R4
62	70	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	79		R4
63	71	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	80		R4

質問番号		調査項目	ページ		前回調査年度
小	中		経年変化	クロス分析	
64_1	72_1	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。 （1）不登校児童生徒に対する学習活動等の支援	80		R4
64_2	72_2	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。 （2）特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援	81		R4
64_3	72_3	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。 （3）外国人児童生徒に対する学習活動等の支援	81		
64_4	72_4	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。 （4）児童生徒の心身の状況の把握	81		
64_5	72_5	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。 （5）児童生徒に対するオンラインを活用した相談・支援	82		
65	73	障害のある児童生徒が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置（※）等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援を実施しましたか （※）障害により情報機器端末の入出力自体に困難を抱えた児童生徒のための支援装置 （例：音声読み上げソフト 、点字ディスプレイ、音声文字変換システム、視線入力装置 、ボタンマウス、ブレススイッチ等）	82		
66	74	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫等）を行いましたか	83		R4
67	75	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	84		R4
68	76	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	84		R4
69	77	令和４年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有しましたか	85		R4
70	78	【小学校】 職場見学を行っていますか 【中学校】 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか	86		R4
71	79	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	87		R4
72	80	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	87		R4
73	81	（72）〔（80）〕の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか	88		
74	82	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	88		
75	83	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか	89		R3
76	84	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	89		R4
77	85	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かしましたか	90		R4
78	86	令和４年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	91		R4
79	87	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	92		R4
80	88	令和４年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか （学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む）	92		R4
81_1	89_1	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。 （1）運動会〔体育祭〕・競技会・球技会	93		R4
81_2	89_2	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。 （2）音楽会・合唱コンクール	93		R4

質問番号		調査項目	ページ		前回調査年度
小	中		経年変化	クロス分析	
81_3	89_3	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。 （3）学芸会・文化祭	93		R4
81_4	89_4	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。 （4）遠足	94		R4
81_5	89_5	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。 （5）芸術鑑賞会	94		R4
81_6	89_6	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。 （6）職場見学〔職業体験活動〕	94		R4
81_7	89_7	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。 （7）集団宿泊活動（修学旅行も含む）	95		R4
81_8	89_8	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。 （8）授業参観・学校公開	95		R4

１．調　査　の　概　要

（１）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（２）調査の対象とする児童生徒

【小学校調査】

小学校第６学年、義務教育学校前期課程第６学年、特別支援学校小学部第６学年

【中学校調査】

中学校第３学年、義務教育学校後期課程第３学年、
中等教育学校前期課程第３学年、特別支援学校中学部第３学年

（３）調査事項及び手法

①　児童生徒に対する調査

ア　教科に関する調査〔国語、算数・数学、英語（中学校のみ）〕

出題内容はそれぞれ次の(ｱ)と(ｲ)を一体的に問うもの。

(ｱ) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

(ｲ) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※調査問題は学習指導要領（平成 29 年告示）に示された目標及び内容等に基づいて作成。

イ　質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。

本年度の主な調査項目は以下のとおり。

- 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等
- 部活動
- 地域や社会に関わる活動の状況等
- ＩＣＴを活用した学習状況
- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- 学習に対する興味・関心や授業の理解度等

②　学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施。

本年度の主な調査項目は以下のとおり。

- 生徒指導等
- 学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況
- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- 各教科の指導方法
- ＩＣＴを活用した学習状況

※調査項目は毎年度文部科学省において決定。
※全国学力・学習状況調査の開始当初（平成 19 年度）と比べて質問紙調査の質問項目数が増加し、平成 30 年度より、毎年調査する項目と数年おきに調査する項目を分別し、質問項目数を選定。

（４）調査の方式
悉皆調査

（５）調査日時
令和５年４月 18 日（火）
（英語「話すこと」に関する調査は、４月 18 日（火）～５月 26 日（金）で実施）

【小学校調査】

調査日	１時限目	２時限目	
	国語（45 分）	算数（45 分）	児童質問紙 （20～40 分程度）

【中学校調査】

調査日	１時限目	２時限目	３時限目		
	国語（50 分）	数学（50 分）	英語 「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」 （45 分）	生徒質問紙 （20～45 分 程度）	

文科省指定日	英語 「話すこと」

※児童生徒質問紙調査は、一部の学校において、児童生徒の活用するＩＣＴ端末等を用いたオンラインによる回答方式で実施。なお、オンラインによる回答方式で実施する場合、ネットワーク環境を考慮し、４月 10 日（月）～５月 16 日（火）の期間で分散して実施。

※中学校英語「話すこと」に関する調査の所要時間は５分（準備や移動に要する時間を合わせて 15 分）程度。４月 18 日（火）には文部科学省が指定する一部の中学校（500 校程度。以下「当日実施校」という。）で、その他の中学校については４月 19 日（水）～５月 26 日（金）までの期間で、学校ごとに文部科学省が指定する日に分散して実施。また、調査対象の生徒数によって、ネットワーク環境を考慮して複数の時限に分けて実施することも可とした。

（６）集計児童生徒・学校数
① 集計基準
児童生徒に対する調査については、令和５年４月 18 日（火）（以下「調査日」という。）に実施された教科に関する調査及び令和５年４月 10 日（月）から５月 16 日（火）に実施した質問紙調査の結果を集計。ただし、英語に関する調査の結果については、調査日に実施された「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計。「話すこと」に関する調査の結果については、調査日に「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」の調査を実施し、かつ１回目で正常に全ての音声データが登録された 41,966 人の結果から平均正答率等を推定。
学校に対する質問紙調査については、在籍する児童生徒が調査を実施した学校の結果を集計。

【抜粋】令和５年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領（令和４年 12 月７日付）

７．中学校の英語のうち、「話すこと」に関する調査の実施にかかる特例的な措置
英語「話すこと」に関する調査は、ICT 端末を活用し、文部科学省 CBT システム（MEXCBT：メクビット）を用いたオンラインの音声録音方式で実施するものであり、各学校の ICT 環境が様々であることから、令和５年度については、特例的な措置として、以下のとおり取り扱うこととする。
（１）英語に関する調査の結果については、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の合計を集計する。また、「話すこと」に関する調査の結果については、当日実施校の結果から推定される全国値のみを公表することとし、都道府県別、指定都市別の公表は行わない。
（２）期間内実施校の英語「話すこと」に関する調査の結果については、参考値として当該学校とその設置管理者、所管する都道府県教育委員会に提供することとし、公表は行わない。

② 集計児童生徒数

（小学校第６学年、義務教育学校前期課程第６学年、特別支援学校小学部第６学年）

	調査対象児童数※1	４月18日に調査を実施した児童数※2	【参考】 ４月18日～４月28日に調査を実施した児童数
公立	1,019,859人	964,350人	979,423人
国立	6,396人	6,191人	7,658人
私立	13,190人	6,804人	7,037人
合計	1,039,445人	977,345人	992,718人

（中学校第３学年、義務教育学校後期課程第３学年、
中等教育学校前期課程第３学年、特別支援学校中学部第３学年）

	調査対象生徒数※1	４月18日に調査を実施した生徒数※2、3	【参考】 ４月18日～４月28日に調査を実施した生徒数
公立	983,778人	893,528人	898,961人
国立	9,968人	9,262人	9,514人
私立	81,836人	21,191人	22,051人
合計	1,075,582人	923,981人	930,526人

※１調査対象児童生徒数について、公立・国立は、調査実施前に学校から申告された児童生徒数、私立は、令和４年度学校基本調査による。調査当日までの転入出等により増減の可能性がある。

※２調査を実施した児童生徒数は、回収した解答用紙が最も多かった教科（小学校：算数、中学校：英語）の解答用紙の枚数で算出。

※３英語「話すこと」調査については、合計 905,370 人の生徒が、４月 18 日（火）～５月 26 日（金）の間で日程を分散して実施した。

③　集計学校数

（小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部）

	調査対象者の在籍する学校数	４月18日に調査を実施した学校数（実施率%）	【参考】 ４月18日～４月28日に調査を実施した学校数（実施率%）
公立	18,672校	18,619校 （99.7%）	18,641校 （99.8%）
国立	75校	75校 （100%）	75校 （100.0%）
私立	244校	127校 （52.0%）	130校 （53.3%）
合計	18,991校	18,821校 （99.1%）	18,846校 （99.2%）

※４月 18 日（火）に、調査を実施できないやむを得ない事情がある場合は、教育委員会及び学校等の判断により、４月 19 日（水）～４月 28 日（金）の期間に調査を実施することを可能としている。この場合の教科調査の結果は、全体の集計からは除外されるが、採点の上、教育委員会・学校に提供することとしている。

（中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部）

	調査対象者の在籍する学校数	４月18日に調査を実施した学校数（実施率%）	【参考】 ４月18日～４月28日に調査を実施した学校数（実施率%）
公立	9,408校	9,339校 （99.3%）	9,369校 （99.6%）
国立	80校	78校 （97.5%）	80校 （100.0%）
私立	799校	285校 （35.7%）	291校 （36.4%）
合計	10,287校	9,702校 （94.3%）	9,740校 （94.7%）

※４月 18 日（火）に、調査を実施できないやむを得ない事情がある場合は、教育委員会及び学校等の判断により、４月 19 日（水）～４月 28 日（金）の期間に調査を実施することを可能としている。この場合の教科調査の結果は、全体の集計からは除外されるが、採点の上、教育委員会・学校に提供することとしている。

※英語「話すこと」調査については、合計 9,652 校が、４月 18 日（火）～５月 26 日（金）の間で日程を分散して実施した。

（７）過去の調査結果との比較

過去の全国学力・学習状況調査において、同内容の質問を行った項目については、併せて過去の調査結果を掲載している。

※平成 19 年度から平成 21 年度、平成 25 年度から平成 31 年度及び令和３年度から令和５年度は悉皆調査として実施。平成 22 年度及び平成 24 年度は抽出調査として実施。

	調査対象児童生徒数		調査実施日に調査を実施した児童生徒数※1	
	小学校	中学校	小学校	中学校
平成24年度全国学力・学習状況調査（平成24年4月17日実施）	1,168,394人	1,183,501人	262,086人	442,612人
平成25年度全国学力・学習状況調査（平成25年4月24日実施）	1,157,235人	1,189,795人	1,121,164人	1,070,833人
平成26年度全国学力・学習状況調査（平成26年4月22日実施）	1,130,302人	1,168,528人	1,093,806人	1,060,010人
平成27年度全国学力・学習状況調査（平成27年4月21日実施）	1,110,429人	1,173,257人	1,074,707人	1,056,921人
平成28年度全国学力・学習状況調査（平成28年4月19日実施）※2	1,085,888人	1,155,666人	1,034,957人	1,038,129人
平成29年度全国学力・学習状況調査（平成29年4月18日実施）	1,051,086人	1,131,433人	1,012,581人	1,024,189人
平成30年度全国学力・学習状況調査（平成30年4月17日実施）	1,077,930人	1,109,985人	1,043,420人	1,008,090人
平成31(令和元)年度全国学力・学習状況調査（平成31年4月18日実施）	1,081,861人	1,092,580人	1,040,506人	977,370人
令和3年度全国学力・学習状況調査（令和3年5月27日実施）	1,060,371人	1,081,220人	1,005,600人	932,995人
令和4年度全国学力・学習状況調査（令和4年4月19日実施）	1,057,660人	1,087,289人	978,111人	928,509人

	調査対象者の在籍する学校数		調査実施日に調査を実施した学校数	
	小学校	中学校	小学校	中学校
平成24年度全国学力・学習状況調査（平成24年4月17日実施）	21,068校	10,785校	5,224校	4,471校
平成25年度全国学力・学習状況調査（平成25年4月24日実施）	20,746校	10,711校	20,590校	10,184校
平成26年度全国学力・学習状況調査（平成26年4月22日実施）	20,510校	10,649校	20,352校	10,173校
平成27年度全国学力・学習状況調査（平成27年4月21日実施）	20,327校	10,568校	20,191校	10,120校
平成28年度全国学力・学習状況調査（平成28年4月19日実施）※2	20,049校	10,526校	19,522校	9,906校
平成29年度全国学力・学習状況調査（平成29年4月18日実施）	19,876校	10,467校	19,645校	9,982校
平成30年度全国学力・学習状況調査（平成30年4月17日実施）	19,733校	10,473校	19,583校	10,040校
平成31(令和元)年度全国学力・学習状況調査（平成31年4月18日実施）	19,600校	10,409校	19,455校	9,950校
令和3年度全国学力・学習状況調査（令和3年5月27日実施）	19,280校	10,316校	19,038校	9,680校
令和4年度全国学力・学習状況調査（令和4年4月19日実施）	19,122校	10,282校	18,867校	9,762校

※1 調査を実施した児童生徒数は、回収した解答用紙が最も多かった教科の解答用紙の枚数で算出。

※2 平成28年4月に発生した熊本地震による影響により、熊本県並びに宮崎県及び大分県の一部の小中学校において、4月19日の調査実施を見送った。

（８）「２．質問紙調査の結果」の解釈等に関する留意事項

「(1) 質問紙の経年変化」及び「(2) 質問紙と学力のクロス分析」関係

○児童生徒質問紙の凡例における「その他」は、回答内容がいずれの選択肢にも分類できなかった回答を集計しており、「無回答」は回答のなかったものを集計している。また、学校質問紙の凡例における「その他、無回答」は、回答内容がいずれの選択肢にも分類できなかった回答もしくは無回答を合算して集計したものである。いずれも割合として極めて小さく、本報告書上ではグラフの表示を簡潔にするため、これらの割合はグラフ上に数字を表示していない。

○(1)の＜児童生徒質問紙の経年変化＞（p.12～51）に掲載しているグラフは、児童生徒質問紙調査を実施した全ての児童生徒を対象として集計したものである。一方、(2)の＜児童生徒質問紙と学力のクロス分析＞（p.98～116）に掲載しているグラフは４月 18 日（火）に教科に関する調査を一つ以上実施し、かつ、児童生徒質問紙調査を実施した児童生徒を対象として集計したものである。このため、同じ質問紙項目に関するグラフであっても、(1)と(2)でグラフの数値が異なる場合がある。

「(2) 質問紙と学力のクロス分析」関係

○児童生徒質問紙及び学校質問紙については、学力との間に一定の関係がみられる項目を抜粋し、教科の平均正答率とのクロス集計とその分析結果を掲載している。なお、クロス集計については、相関関係(※)がみられるかを分析したものであり、因果関係を示したものではないことや、質問紙調査の回答が特定の選択肢に偏っている項目の場合は正答率との相関関係が表れにくいことなどに留意する必要がある。これらを踏まえ、データから読み取れる内容と実際の状況とをよく照らし合わせて分析することが重要である。

※２つの項目の間の何らかの関係性のこと。

○英語「話すこと」調査の平均正答率と生徒質問紙及び学校質問紙とのクロス集計については、英語「話すこと」調査の平均正答率等の全国値の推定と同様、令和５年４月 18 日（火）に英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」の調査を実施し、かつ１回目で正常に全ての音声データが登録された生徒 41,966 人、及びその生徒が在籍する 499 校を対象に分析したものである。そのため、他教科の平均正答率と質問紙調査のクロス集計とは分析対象の規模が異なることに留意する必要がある。

＜用語説明＞

語句	説明
平均正答率	平均正答数を百分率で表示。 ○国語、算数・数学、英語ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）。